

実際に商品を使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

←この色の部分が2015年2月4日付けで変更になりました。

【適用害虫と使用方法】

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びエトキサゾールを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用時期	総使用回数※	使用液量	使用方法			
樹木類	ハダニ類	2,000倍	発生初期	1回	200～700 ^{リットル} / 10a (200～700ml / m ²)	散布			
花き類・観葉植物					100～300 ^{リットル} / 10a (100～300ml / m ²)				
きゅうり なす いちご					2,000倍		収穫前日まで	2回以内	100～350 ^{リットル} / 10a (100～350ml / m ²)
すいか メロン とうがん		100～300 ^{リットル} / 10a (100～300ml / m ²)							
かんしょ あずき									
食用 ^ミ バラ		100～300 ^{リットル} / 10a (100～300ml / m ²)							
ぶどう		2,000倍	収穫7日前まで	1回					200～700 ^{リットル} / 10a (200～700ml / m ²)
マンゴー									
もも		モモサビダニ	2,000～3,000倍	収穫14日前まで					2回以内
すもも ネクタリン		ハダニ類							
びわ		ミカンハダニ	2,000倍	収穫前日まで	1回				
かんきつ(みかんを除く)		ミカンサビダニ							
みかん		ミカンハダニ	2,000～3,000倍	収穫前日まで	2回以内				
	ミカンサビダニ								
りんご	リンゴハダニ	2,000～3,000倍	収穫14日前まで	2回以内					
	ナミハダニ								
なし	ハダニ類	2,000倍	収穫前日まで	1回					
おうとう									
いちじく									
ホップ									
茶	カンザワハダニ	1,000～3,000倍	摘採14日前まで	1回	200～400 ^{リットル} / 10a (200～400ml / m ²)				

【効果・葉害等の注意】

- ①使用前に必ず容器をよく振ってから使用してください。
- ②ボルドー液との混用はさけてください。
- ③ぶどうに使用する場合、幼果期以降での使用は、果粉溶脱を生じる場合がありますので注意してください。
- ④本剤は植物への浸透移行性がないので、かけ残しのないように葉の裏表に十分に散布してください。
- ⑤ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようにていねいに散

布してください。

- ⑥本剤は殺卵、殺幼虫力は強いですが、殺成虫力が弱く遅効性です。誤ってまき直しなどのないように注意してください。
- ⑦ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、できるだけ年1回の散布とし、作用性の異なる他の薬剤と、交互に使用してください。
- ⑧散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- ⑨本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所または販売店等と相談することが望ましいです。
- ⑩適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

【安全使用上の注意】

- ①使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- ②本剤は眼に対して弱い刺激性がありますので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- ③街路、公園などで使用する場合、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- ④公園、堤とう等で使用する場合は、水源地、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意してください。

【魚など環境に対する注意】 カイコ注意 魚介類注意

- ①蚕に対して影響がありますので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ②水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼす恐れがありますので、河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用してください。
- ③使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さないようにしてください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。